

2012年10月 電源コードの発火により社告

■ 事象

電源コードコネクタ部から発火し、本体の一部焼損及び天井・壁面の煤により汚損に至る。

※対象期間:2002年9月～2005年12月

対象台数:41,620台

(2018年10月10日現在 回収率 49.2%)



LP-Z3



TH-AE500

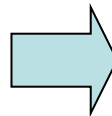
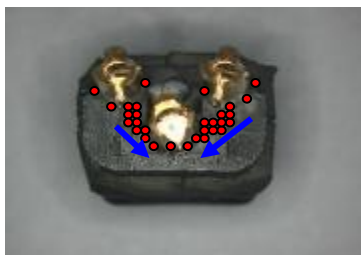
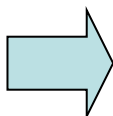
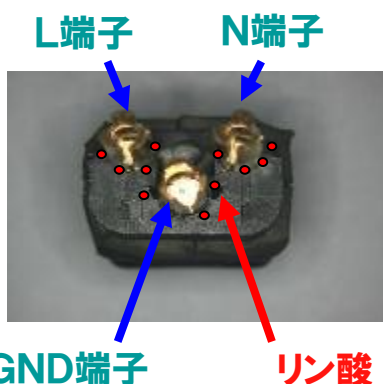
■ 原因

電源コードコネクタ部の樹脂に添加している難燃剤(赤リン)の加工が不十分な為、リン酸が樹脂表面にブリードアウト(析出)し、トラッキングが発生した

① 難燃剤の赤磷が空気中の酸素、水分と反応してリン酸となりしみ出した(ブリードアウト)

② ブリードアウトしたリン酸が拡散、GND端子を経由しL/N端子間の絶縁劣化が進行

③ 絶縁劣化により樹脂表面が徐々に炭化、L-GND-N端子間が短絡し発火



短絡後、発火

■ 教訓

●部品採用時は、物理的特性(機械的・電氣的)のみでなく、難燃剤を含む材料の化学的特性も把握すること。

2008年12月 電解コンデンサの電解液漏れにより社告

■ 事象

電源基板内の電解コンデンサの劣化により、基板面で絶縁劣化し、発火・発煙に至る。(本製品での事故発生はゼロ)

S社より、OEM供給を受けて販売した製品で、同一設計のS社の社告を受け、他OEM先と連名で社告を実施。

S社経緯:福岡と岐阜で火災(周囲天井を焼損)が2件発生。

※ 対象期間:1991年7月～1993年9月 対象台数:500台
(2014年6月回収率 52.2%)

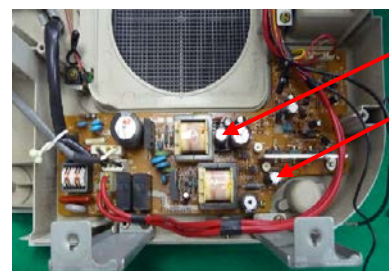


TH-100CV1

■ 原因

電源回路二次側の電解コンデンサの電解液に四級塩が使用されており、経年劣化で電解液漏れ基板上でトラッキングが発生し、発煙、発火に至る

さらに外郭が不燃材又は難燃材で覆われていなかった



当該
コンデンサ

電源基板

■ 教訓

●外部委託設計や買入商品(OEM/ODM)の場合、相手先と当社の役割と責任、実施の内容及びタイミングなどについて明確にして推進すること。

●OEM/ODM先が大手の会社であっても、デザインレビュー、リスクアセスメントを委託元(当社)で実施すること。